

# 私の神戸市外大 青春時代

敬称略：順不同



**言葉は絶対に  
必要不可欠なもの**

フェニックスグループホールディングス 会長  
1965年ロシア学科卒業



荻野 正明

1960年ロシア学科に入  
学。ちょうどその前に、当時のソ  
ビエト連邦が人類初となる人工  
衛星「スプートニク」の打ち上げ  
に成功、ぼくの高校の担任など  
は合格の報告を聞いて「これか  
らはソ連の時代だぞ!」と言っ  
て肩をたたいてくれました。しか  
し、ぼくはロシア語になかなか  
じめず、苦勞した記憶が残って  
います。ただ、男声合唱の「グリー  
クラブ」に入部していたので、当  
時ロシア民謡が日本の多くの若  
者たちに親しまれていたことも  
あって、ずいぶん多くの曲を練  
習し、リサイタルでもそれらを  
唄ったものです。

大学卒業後しばらくして、買



易会社の香港駐在員事務所所  
長として香港に赴任。以来、5  
年後の独立を経て香港滞在は  
半世紀近くになっています。  
これからの日本は、これから  
生まれてくる子どもたちに対  
して、自分たちがどのように向  
き合い、どのように自分たちの  
時代のことを次世代に伝えてい  
くのか?といったことを常に意  
識していることが必要になって  
来ると思います。その上で、アジ  
アの国々の人々を視野に入れ、  
同様の考えを広げていく。そう  
いう時代になります。その場  
合、言葉は絶対に必要不可欠  
なものだと考えています。

## 進取の街・神戸での学生時代

株式会社文藝春秋 前代表取締役社長  
神戸市外国語大学 客員教授  
1970年英米学科卒業



平尾 隆弘

神戸は、日本における映画  
興行発祥の地である。明治29  
(1896)年――外大創設の  
半世紀前になる。映画だけでは  
ない。水族館、ゴルフ、パーマネ  
ント、花時計等々が神戸から生ま  
れた。ラムネもパン屋もジャズパ  
ンドも神戸発。進取の気性に富  
んだ街なのだ。

誰の心にも懐かしい土地があ  
るに違いない。神戸はわが懐か  
しき街。学生時代ワンダーフォー  
ゲル部だったから、六甲は文字通  
りホームグラウンドであった。上京  
後、横浜を訪れたとき、「山が見  
えない、山が!」と落ち着かない  
気持になったものだ。雑誌編集  
者の頃出来した震災は、とても

**勉強でも何でも  
楽しんで者が勝ち**

外務省 情報分析官  
神戸市外国語大学 客員教授  
1990年中国学科卒業



岡田 勝

他人事ではなかった。司馬遼太  
郎、山崎豊子、田辺聖子、陳舜  
臣、藤本義一、宮本輝……関西  
在住の作家たちは、一様に衝撃  
を受けておられた。  
人も街も、懐かしさだけでは  
生きられない。神戸が、進取の  
気性を忘れずに、強くアピール  
できる存在になればと切に願っ  
ている。

神戸市外大には、今も感謝の  
気持ちでいっぱいです。専攻の中  
国語については、入学直後の厳し  
い発音指導から始まり、日常会  
話から古典文学まで様々な中  
国語を学ぶことができました。

神戸市外大の中国語は、社会の  
各分野で高い評価を受けていま  
す。また、語学以外の授業も非  
常に充実しています。私は、3年  
生からは、法経商コースを選択  
し、憲法、国際法、民法、経済学、  
金融学などの授業を受けました  
が、そのレベルは非常に高く、国  
家公務員試験だけではなく、外  
務省に入ってからの実務にも大い  
に役立っています。

神戸市外大は、大規模な総  
合大学とは異なりアットホーム  
な雰囲気があります。私は中国  
研究会に所属しましたが、年に二  
度の語劇などを通じ、非常に充  
実した大学生活を送ることがで  
きました。なお、私の妻は、私が  
3年生になったときに新入生と  
して入ってきた中国学科の後輩  
であり、神戸市外大は「仲人」  
でもあります。

私は1990年に神戸市外  
大を卒業して外務省に入つてか  
ら既に26年あまりになります  
が、2年間の北京大学での在  
外研修及びこれまで3回で合  
計約10年になる北京の大使館  
勤務を含め、ほとんどが中国関  
係の仕事に従事してきました。